

中期経営計画

利益ある成長と飛躍

2005年7月28日

アンリツ株式会社

社長 戸田 博道

(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)

中期計画基本方針

■安全・安心で快適な社会環境と
ユビキタスネットワーク社会の実現へ
の貢献

■外部環境

- 安全・安心な生活環境
- 循環型社会と環境共生型社会
- 安全・安心な通信ネットワーク
- 通信のコンバージェンス
- 通信、放送、情報家電の融合
- サービス/アプリケーションの多様化
- 緩やかな垂直統合

顧客対応力を強化するとともに、
総力を挙げてグローバル展開し、

110年続いた

オリジナル&ハイレベルな技術

をベースに

顧客価値の向上と新需要の創出

につながる

ソリューションを提供

経営体質の強化

■ Vision: グローバルなマーケットリーダーになる

■ 一流のT&Mサプライヤになる。

* 3Gワイヤレス計測でNO.1になる。

* 汎用・IP計測のターゲット市場でNO.1またはNO.2になる

■ Mission:

お客様に製品、サポート、サービスの組み合わせで、
比類のない価値を提供する

■ Strategy: マーケットドリブンとカスタマフォーカス

総力を挙げたグローバル展開

欧州
販社の再構築
市場セグメント営業体制の強化

アジア太平洋州
セールスネットワーク拡大

米州
市場セグメント営業体制の強化
サポート体制の充実

アフリカ
代理店網の強化

インド
リエゾンオフィスを中心とした
販売サポート体制の構築

グローバルなマネジメント施策の実施

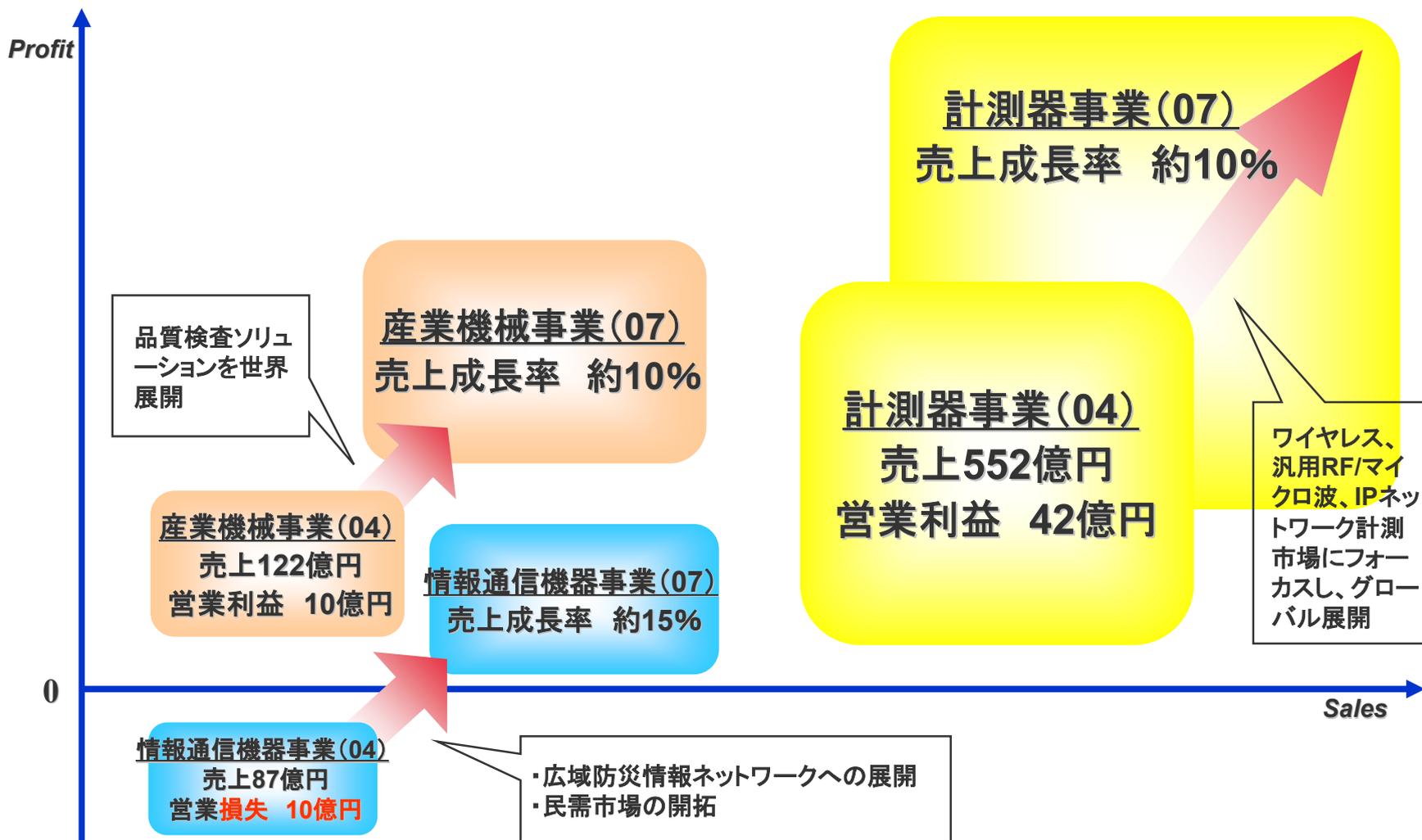
人材の育成、知財マネジメント、グローバルITの実現、
生産の最適化、品質管理体制の確立、環境マネジメントシステムの構築、
テクニカルサポートセンター機能の充実

「利益ある成長」

主力の計測器を中心に安定した事業構造を構築する

- 計測器事業のグローバルな成長
- 情報通信機器事業の収益改善
- 産業機械事業の安定的な利益創出
- 新規事業の育成

事業計画（事業目標）



計測器事業

●事業戦略

- ・ワイヤレス計測市場、汎用RF/マイクロ波計測市場、IPネットワーク計測市場にフォーカスする
- ・第3世代携帯(3G)用計測器を中心に利益を確保するとともに、無線LAN、WiMAX、デジタル放送など汎用計測市場に幅広く取り組む
- ・**全IP化ネットワークに対応した計測ソリューションを提供する**

ワイヤレス	3Gサービスの開発用、製造用、建設・保守用に幅広く展開
汎用	W-LAN、WiMAX、デジタル放送などさまざまなRF/マイクロ波応用に対応
IPネットワーク	全IP化ネットワークに対応



情報通信機器事業

●事業戦略

- ・官公庁市場で培ったシステムソリューション技術をベースにしたソフトウェアで付加価値を高める。
- ・施設監視・画像によるセキュリティ監視システムや映像トラフィック平滑化システムなどを軸に、民需市場へ展開する。
- ・黒字化を達成し、さらにシナジーで全社の利益に貢献する。

映像配信

広域防災情報ネットワークと映像監視用ソリューションを提供



産業機械事業

●事業戦略

- ・長年培ってきた重量計測、磁界およびX線の開発技術とオンライン検査総合技術をもとに、食品業界へ異物検査、計量管理に対する新たなソリューションを提供し、安定的に利益を得る。
- ・日本での高シェアを維持しつつ、中国をはじめアジア、欧州、米国などの海外市場へ展開する。

食品・薬化品用計量・検査

異物検出や計量検査で、世界に品質検査ソリューションを展開



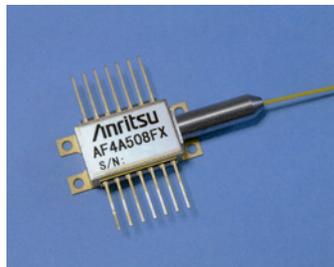
継続して育成すべき事業

●事業戦略

電子部品検査事業、デバイス事業、ガスセンシング事業を事業の柱に育成する。

電子部品検査
光デバイス
ガスセンシング

高精細印刷はんだ検査機、FPD*検査機で市場拡大。
通信用光デバイスを基軸に、非通信用分野を拡大。
ガスセンシング技術で環境市場に地位を確立。



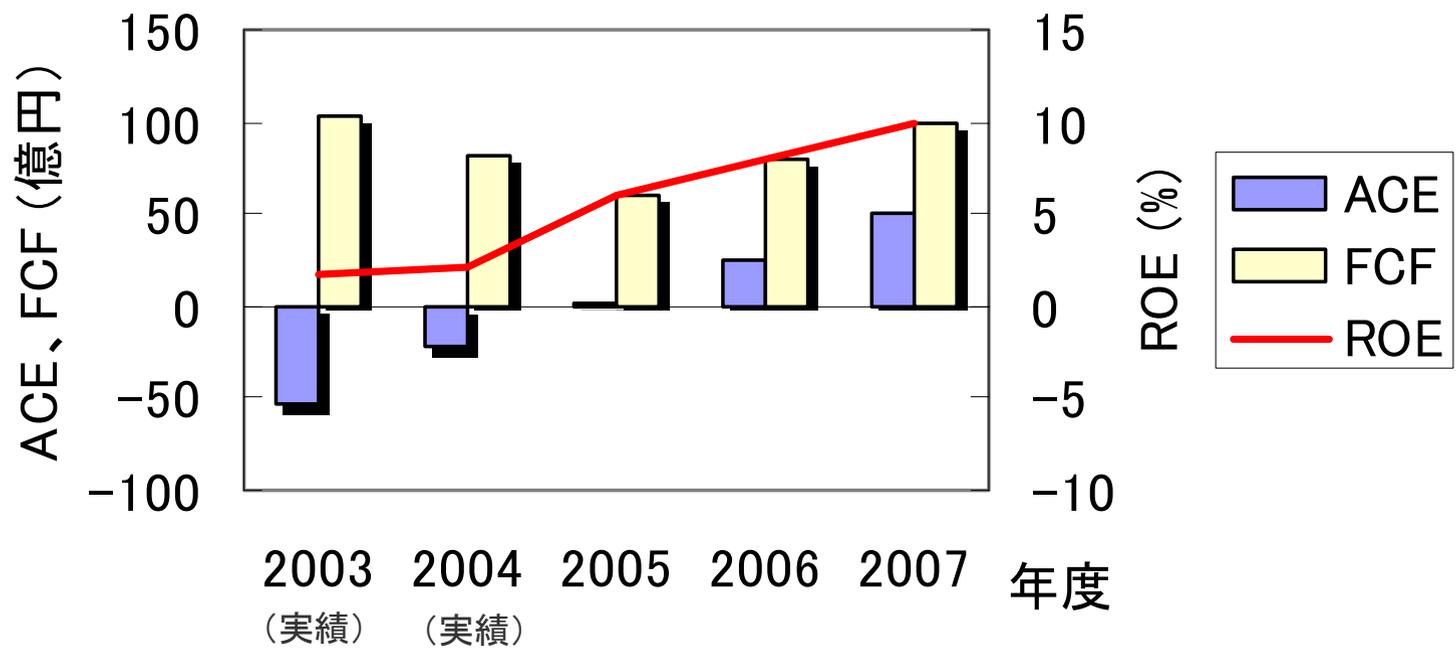
企業価値の向上計画

基本方針

事業運営方針「利益ある成長と飛躍」シナリオの下、
キャッシュフローの創出力を高める施策を実行し、
株主資本の充実、有利子負債の削減を推進すること
により財務信用力格付けの向上（「A-」へ復帰）と、
企業価値の最大化を実現する。

企業価値の向上計画

売上増	20%以上	} (07/05年度比)
営業利益率	10%以上	
株主資本比率	50%以上	} (07年度)
D/Eレシオ	0.50以下	
ROE	10%以上	



Discover What's Possible™ ◆ACE: アンリツ独自の事業評価指標
 Anritsu Capital-cost Evaluation (税引き後営業利益 - 資本コスト)
 ◆FCF: Free Cash Flow



配当方針

■ 基本的な考え方

連結当期純利益の状況を基礎に、事業環境、次期以降の業績見通し、連結株主資本配当率などを勘案して配当を実施する

コーポレートガバナンスの強化

《新たな強化策》

■ 社外取締役の招聘（2005年6月）

■ アンリツグループ行動憲章・行動規範の制定・改訂（2005年4月）
と継続的な教育・啓発活動の推進

■ コンプライアンスのみならずポジティブなCSRの強化

経営監督と執行の分離、積極的なIR活動とディスクロージャー、
内部統制システムの充実やCSR推進部門の設立などにより、
積極的にコーポレートガバナンスの強化に取り組む。